

一般質問

ここが聞きたい！



秋元 直樹 議員 8

5期目のチャレンジに向けた展望は



阿部 君枝 議員 9

誰もが安心して、搾乳ができる環境を



戸松 恵子 議員 10

深刻な物価高騰から町民を守る支援について
ほか1件

令和7年第3回町議会（定例会）の一般質問には3人の議員が登壇し、町政に対するさまざまな課題について、現状や今後の方向性を町長などに問い質しました。

一般質問とは、議員が町長や教育長などに対し、町政に関するさまざまな課題について、考えを聞いたり提案をしたりするもので、質問と答弁がかみ合うように全文通告制を採っています。

なお、再質問からは一問一答方式で行い、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。

5期目のチャレンジに

向けた展望は

町長「遠紋地方の中心地としての

役割を果たしていきたい

問

佐々木町長においては、4期16年の間まちづくりの先頭に立ち町政運営にあたってきました。

4期16年の任期の中では、合併後の厳しい財政状況もあり、さまざまな懸案事項と向き合い、町政を前に進められてきたところです。

本年10月には、平成17年の町村合併から早20年を迎えます。合併20周年を迎える節目の年に、4期16年の任期を終える町長に2点質問します。

①町長として4期16年を振り返って、実績や成果をどのように総括していますか。

②4月21日の後援会において、町長が5期目出馬

答

①1点目の実績や成果については、町民の皆様が判断することと考えますが、どういった考えのもとで町政運営にあたってきたかを述べさせてもらいます。

苦しい財政状況で、町村合併を選択せざるを得なかった新遠軽町において、脆弱な財政基盤の中、新たな町の基盤となる事業推進に取り組んできた16年間でした。

事業を進めるには、何をおいてもしっかりとし



CHECK 地方交付税算定替えとは

合併により地方交付税が直ちに減少することは合併の阻害要因となることから、合併後一定期間は、旧市町村が存続したものとみなして地方交付税が算定されるもの。

た財政基盤の構築が最重要と捉え、合併自治体の実態を踏まえた地方交付税算定替えの延長等を発案し、私が会長を務める北海道合併市町村連携会議の要望活動によって法改正に至りました。

これによる大きな財源確保が、数々の事業推進のベースとなりました。

②2点目の質問については、遠軽町は一次産業で

日本に貢献するオホーツク管内の半分を占める遠紋地方の中心地としての役割があると考えています。

その役割とは大きく医療と教育であると考えますし、中心地遠軽の医療とは遠軽厚生病院、教育とは遠軽高校です。

そしてこの2つをささえているのが、陸上自衛隊遠軽駐屯地です。もちろん自衛隊の最重要任務は日本の守りですが、これらを核として遠紋地方の中心地としての遠軽町を創ることが自分に与えられた最重要な使命であると考えます。

問

近隣市町村の北見市が財政危機と報じられ、遠軽町民の皆様からも、遠軽町の財政状況について大きな関心が寄せられています。

これから先の財政の見通しと方向性について町長の考えは。

答

現在、さまざまな財政の指標上は健全化が図られています。が、当初予算の基金の取り崩しもあることから、まだまだ予断は許さない現状もありますので、引き続き安定した財政運営に取り組んでいきたいと思います。



あきもと 秋元

なおき 直樹

議員

誰もが安心して、 搾乳ができる環境を

町長～搾乳することのできる環境づくり
にできることから取り組みます



北海道では「赤ちゃんほっとステーション」として、子育て支援サイトで搾乳が行える場所を紹介しており、町内関係では、げんき21と赤ちゃんワールドが登録されている（6月末現在）。詳しくはQRコードからアクセス

問

現在、多くの人が利用する施設には赤ちゃんにミルクをあげることでできる「授乳室」の設置が進んでいますが、授乳室で「搾乳」もできることについては、まだ一般の理解が進んでいません。
入院中の赤ちゃんに母乳を届けるために、自分

で定期的に母乳を搾る必要のあったある母親は、1人で授乳室を利用していった際に「赤ちゃんが一緒にいないのに、1人で一体何をしているんだ」と、さも目的外利用をしているかのような心ない言葉を投げかけられたことが（ほかの町では）あるそうです。

また、産後に職場復帰する女性にとっても、職場で安心して搾乳できる場所の確保や周囲の理解などが課題です。

赤ちゃんに授乳しない場合でも母体では母乳がつくられるため、母乳が

たまった状態を放置すると痛みが生じたり乳腺炎等を発症するおそれがあり、数時間ごとに搾乳する必要があります。

しかし、職場に女性用の休憩室等がなかったり、周囲に搾乳に関する知識や理解がないため、トイレで便器に向かっ搾乳し母乳を捨てたことがあるといった話も伺いました。

女性が、出産後安心して社会参画ができて健康に活動するためにも、社会全体が出産後の女性の健康管理について正しく理解し、出産や子育てへの

答

支援を充実するため、必要な方が安心して授乳室でも搾乳しやすい環境づくりに取り組むべきと考えますが、町の見解を伺います。

出産後の女性は、授乳や搾乳が十分でなく乳腺炎を起こす場合もあることから、その

予防や対処法等について新生児訪問や母子健康相談等の際に保健婦からお話しています。

厚生労働省において専用の搾乳室でなくても搾乳スペースを設置できる環境づくりについて、パンフレット等で周知・促

進されているところで

す。
授乳室における搾乳を含めた出産後の女性の健康管理への社会全体の理解については、厚生労働省のパンフレットや各種素材を活用するなどして、啓発していきたいと考えています。

また、必要な方が安心して授乳室で搾乳することのできる環境づくりについて、できることから取り組みとして、公共施設に設置している授乳室で搾乳にも利用できるように、他の自治体の事例も参考にしながら表示方法を検討します。



あべ きみえ
阿部 君枝 議員

深刻な物価高騰から

町民を守る支援について

町長／今後も必要な事業を

計画・実施していきたい

問

私は4年に1回、町民アンケートを行っていますが、お米を筆頭に多くの物が値上がりし、子育て世代や年金暮らしの高齢者からは「生活がますます苦しくなっている」という悲痛な声が上がっています。

私は4年に1回、町民アンケートを行っていますが、お米を筆頭に多くの物が値上がりし、子育て世代や年金暮らしの高齢者からは「生活がますます苦しくなっている」という悲痛な声が上がっています。

問

アンケートの声を「せめて中学生までの医療費の助成を」「給食費の無償化実現を」「物価高で年金生活は苦しい。現金1万〜2万でもほしい」という切実な声があります。どの世帯にも一律に恩恵があるのは公共料金の値下げです。

答

国の交付金を活用しながら必要な事業を計画し、実施してきているところですが、今後についても、国から新たな支援策が示された場合は、

答

公共料金の値下げについては過去、コロナ禍で検討実施して

答

公共料金の値下げについては過去、コロナ禍で検討実施して

問

町内各地域には、さまざまな観光施設があります。

各施設では、工夫した取り組みや色々な努力をしていますが、4地域の観光施設同士の連携が足りないと思うので、各施設や温泉、レストランを組み合わせたなど、お得に感じられるような取り組みを考えてはどうでしょうか。

答

これまで町内観光施設をビンゴスタンプラリーで周遊し、町の特産品が当たる取り組みや、温泉施設を巡るスタンプラリーなどを進めてきましたが、効果があつたものや思うように利用者数が伸びなかったものなどありました。

令和元年にオープン



年間約80万人が訪れる道の駅遠軽森のオホーツク。ここから各施設へどう誘い込むかが課題（画像はツリートレッキング）

答

町内20施設あり、広報の紙面にも限りがあると思いますが、色々と誘客につながるよう、検討していきたいと思っています。

問

宣伝方法ですが、特に年配の人に向けてホームページ以外にも、広報などにチラシを入れるなど紙媒体での宣伝もできませんか。



とまつ けいこ 議員
戸松 恵子